

1月13日(金)~2月11日(土・祝) 満月セレクト

— 今回のセレクトアーで紹介 —

Music Selector : 土屋 光弘 (ラジオ番組制作ディレクター、プロデューサー、選曲家)



土屋 光弘

大学卒業後、大手レコードショップのジャズ・カウンターで3年間勤務。その後、ラジオ番組制作会社へ転職、現在フリーランスで、都内FM、AM、CS局を中心に番組を制作、プロデュース、イベント、店舗BGM等の選曲を担当。歌謡曲、J-POPから洋楽全般、映画音楽、ジャズ、ワールド・ミュージック、現代音楽、落語、効果音など、メジャーからマイナーまで、音楽というよりも「音」に関するあらゆるジャンルの選曲、制作、プロデュースを行う。

今回のセレクトCD

- 

1. Leonard Cohen / Various Positions (Columbia / 4655692)
昨年2016年11月7日、82歳でこの世を去ったカナダ出身の作家、詩人、シンガー・ソングライター、LEONARD COHENの1984年にリリースされた代表作、邦題は「哀しみのダンス」。アルバム・タイトル曲やジェフ・バックリーを始め多くのミュージシャンにカバーされた「ハレルヤ」など、昨年ノーベル文学賞を受賞したボブ・ディランと同じ次元で語られる天才による大人のための名曲の数々。
- 

2. Nels Cline / Lovers (Blue Note / 00602547899392)
米オルタナティブ・ロックを代表するバンド、WILCOのメンバーとしても活躍するアバンギャルド・ジャズ・ギタリスト、NELS CLINEが、2016年にBLUE NOTEからリリースした2枚組の大作。ジャズ・スタンダードの名曲を映画音楽やムード・ミュージックから影響を受けたユニークなオーケストラ・アレンジで演奏、古き良き時代にタイムスリップしたようなドリーミーで不思議な感覚が味わえる。
- 

3. Zaz / Paris ~私のパリ~ (Wea / WPCR-16205)
現在のシャンソン界で絶大な人気を誇る女性シンガー、ZAZが2014年にリリース、フランスを中心に欧州で大ヒットしたシャンソンの名曲集。「オー・シャンゼリゼ」「パリの空の下」「モンマルトルの丘」など、日本でも馴染みの楽曲をジャジーでポップなアレンジで歌い、軽快で楽しい作品に仕上がっている。米ポップス界の大御所クインシー・ジョーンズもプロデュースに参加、ノラ・ジョーンズやエイミー・ワインハウスが好きな方にオススメの1枚。
- 

4. Vince Guaraldi Trio / A Boy Named Charlie Brown (Fantasy / 1884302)
スヌービー、チャーリー・ブラウンなど、多くのユニークで愛らしいキャラクターが登場する世界中で愛されるチャールズ・M・シュルツ原作の漫画「ピーナッツ」。1969年に米CBSで製作されたTVスペシャルのサウンドトラック、邦題は「スヌービーとチャーリー」。音楽を担当したのはジャズ・ピアニスト、VINCE GUARALDI。弾けるリズムと流れるようなポップなメロディで「ジャズは難しい」というイメージを簡単に飛び越える午前中から聴ける楽しいアルバム。ジャケットもインテリアに最適。
- 

5. Duke Ellington And His Orchestra / Afro-Bossa (Wea / WPCR-27137)
ジャズ界の巨匠DUKE ELLINGTONが1963年にリリースした名盤。当時世界中の音楽シーンで流行していたボサ・ノヴァを始め、ラテン、アフロといった様々なリズムを取り入れたダンサブルでエキジチックな作品集。「アブサン」「ピラミッド」「タイグリス」など、謎めいたタイトルの楽曲で綴られるジャズという一つのジャンルでは語り尽くせない多くのエッセンスが混ざった最高のラウンジ・ミュージック。聴く者を時間や空間を超えた別世界へ誘う。